

## 第 36 回(令和 7 年度)手話通訳技能認定試験問題

### I 障害者福祉の基礎知識

### II 聴覚障害者に関する基礎知識

#### 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 解答用紙（マークシート）は別に配る。解答用紙は、一枚で、左半分は「I 障害者福祉の基礎知識」、右半分は「II 聴覚障害者に関する基礎知識」の解答欄になっている。
3. 解答用紙に受験番号・氏名をまず記入すること。
4. 解答は、問題ごとに、解答用紙の所定の欄に記入すること。
5. 解答用紙の記入については、問題冊子の表紙の裏を参照すること。
6. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。

# 解答用紙（マークシート）の記入例

## 1. 氏名と受験番号の記入例

氏名が「情文太郎」で受験番号が「900123」である場合、下記のようになる。

|      |           |
|------|-----------|
| フリガナ | ジョウブン タロウ |
| 氏 名  | 情文 太郎     |

| 受 験 番 号 |   |   |   |   |   |
|---------|---|---|---|---|---|
| 9       | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 |
| ①       | ① | ① | ● | ① | ① |
| ②       | ② | ② | ② | ● | ② |
| ③       | ③ | ③ | ③ | ③ | ● |
| ④       | ④ | ④ | ④ | ④ | ④ |
| ⑤       | ⑤ | ⑤ | ⑤ | ⑤ | ⑤ |
| ⑥       | ⑥ | ⑥ | ⑥ | ⑥ | ⑥ |
| ⑦       | ⑦ | ⑦ | ⑦ | ⑦ | ⑦ |
| ⑧       | ⑧ | ⑧ | ⑧ | ⑧ | ⑧ |
| ●       | ⑨ | ⑨ | ⑨ | ⑨ | ⑨ |
| ⑩       | ● | ● | ⑩ | ⑩ | ⑩ |

### 注 意 事 項

- 必ず、HB・Bの鉛筆・シャープペンシルを使用すること。
- 受験番号欄及び解答欄は、次の正しい例のようにマークすること。  
正しい例 (○ → ●)  
悪い例 (○ → ~~○~~ ~~○~~ ~~○~~ ~~○~~ ~~○~~ ~~○~~)
- マークは、2の正しい例に従い、枠の外にはみ出さないように注意すること。
- マークを訂正する場合は、プラスチック製消しゴムで完全に消してから、マークし直すこと。

## 2. 解答の記入例

各問には、1 から 4 まで四つの選択肢があるので、そのうち正しい答えを一つ選び、解答用紙に記入すること。

[例]

**1** 日本の首都がある都市はどこか、下の中から一つ選びなさい。

- 青 森
- 東 京
- 大 阪
- 熊 本

正解は「2」であるので、下記のようにマークする。

問 1 ① ● ③ ④

## I 障害者福祉の基礎知識

**1** ノーマライゼーションの理念に合致する記述として最も適切なものを、下の  
中から一つ選びなさい。

1. ADL (Activities of Daily Living:日常生活動作) の自立
2. 公共交通機関、道路、建物などにおける物理的障壁の除去
3. 障害への治療やリハビリテーションの充実
4. 福祉施設入所者の地域生活への移行

**2** 次のア～エの障害者をめぐる国際的な動きを、古いものから順に並べると  
どうなるか、下の中から一つ選びなさい。

- ア. アジア太平洋障害者の十年
- イ. 国際障害者年
- ウ. 障害者の権利宣言
- エ. 知的障害者の権利宣言

1. ウ → エ → ア → イ
2. エ → ウ → イ → ア
3. ウ → エ → イ → ア
4. エ → イ → ア → ウ

**3** エンパワメントの理念等に関する記述として最も適切なものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 障害の有無に関わらず、ひとりの人間として尊重される。
2. 障害当事者抜きに、障害者のことを決めない。
3. 障害のある人を障害のない人と同等の生活状態に近づける。
4. 抑圧によって奪われた、自分の生活をよくする力を取り戻していく。

**4** 国際生活機能分類（ICF）に関する記述として最も適切なものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 対象は障害者に限定されている。
2. 「健康状態」には、妊娠や加齢などは含まれない。
3. 「社会的不利」はICFの構成要素の一つである。
4. 生活機能は、「健康状態」と「背景因子」との相互作用とみなされる。

**5** 「令和4年 生活のしづらさなどに関する調査（全国在宅障害児・者等実態調査）」（厚生労働省）における身体障害者の実態に関する記述として最も適切なものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 身体障害者手帳所持者のうち、最も人数が多い障害の種類は「聴覚・言語障害」である。
2. 身体障害者手帳所持者は、65歳以上の人が半数以上を占めている。
3. 身体障害者手帳所持者数は、平成28年の同調査結果と比較すると増加している。
4. 障害者手帳所持者数のうち、身体障害者手帳所持者の割合が最も低くなっている。

**6** 障害者基本法に基づき、国及び地方公共団体が講ずることになっている基本的施策に**含まれない**ものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 公共施設のバリアフリー化の推進
2. 障害者が国政選挙に立候補しやすくする仕組みの構築
3. 障害者に必要な医療給付及びリハビリテーションの提供に必要な施策
4. 相談援助における障害者の意思決定の支援

7

身体障害者福祉法に関する記述として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」と相まって、身体障害者の自立と社会経済活動への参加を促進することを目的とする。
2. 「身体障害者」とは、身体上の障害がある 18 歳以上の者で、市町村長から身体障害者手帳の交付を受けたものをいう。
3. 身体障害者は、社会を構成する一員として、障害があっても支障のない分野の活動に参加する機会を与えられる。
4. すべての身体障害者は、自ら進んでその障害を克服し、その有する能力を活用することにより、社会経済活動に参加しなければならない。

8

「障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律（障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法）」（令和 4（2022）年 5 月施行）の基本理念として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 障害者が円滑に公共交通機関を利用するために、あらかじめ介助者等を配置できるようにする。
2. 障害者でない者と同一内容の情報を障害者が同一時点において取得できるようにする。
3. 障害者でない者と同等の権利を行使できるよう、障害者が合理的配慮の提供を受けられるようにする。
4. 障害に関する情報を獲得し、無関心などの心のバリアを除去できるようにする。

**9** 障害者総合支援法における市町村の役割として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 障害福祉サービスの支給決定に伴う障害支援区分の認定
2. 障害者介護給付費等不服審査会の設置
3. 障害福祉サービス事業者等の指定
4. 精神通院医療の支給認定

**10** 相談支援専門員に関する記述として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 福祉事務所には相談支援専門員の配置が必須である。
2. 相談支援専門員になるためには社会福祉士の資格が要件となる。
3. 相談支援専門員の役割には介護サービス計画の作成が含まれている。
4. 相談支援はケアマネジメントのプロセスに沿って行われる。

**11** 障害者総合支援法における障害福祉サービス支給決定に関する記述として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 要介護認定を受ける必要がある。
2. サービスの利用意向の聴取は不要である。
3. 社会活動や介護者、居住等の状況も勘案される。
4. 都道府県が設置する審査会による認定を受ける必要がある。

12 次の文の（ ）にあてはまる最も適切な語を、下の中から一つ選びなさい。

障害者総合支援法に基づく障害者支援施設は、障害者のニーズに対応した（ ）計画を作成して、常にその効果を評価しながら質の高いサービス提供を行う必要がある。

1. 地域移行
2. 個別支援
3. 自立指導
4. リハビリテーション

13 障害者総合支援法に規定されている障害福祉サービスのうち、介護給付に含まれるものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 意思疎通支援
2. 移動支援
3. 共同生活援助
4. 同行援護

- 14 次の文の（ ）にあてはまる障害福祉サービスを、下の中から一つ選びなさい。

（ ）とは、多様なニーズに対応するために、居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、生活介護、短期入所、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援、自立生活援助、共同生活援助を包括的に提供することをいう。

1. 重度障害者等包括支援
2. 地域包括支援
3. 福祉サービス利用援助
4. 療養介護

- 15 障害者総合支援法における就労移行支援事業に関する記述として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 一般就労等を希望している障害者であれば、70 歳まで利用できる。
2. 職業紹介が主な支援である。
3. 適性に合った職場への就労等が見込まれる障害者が対象である。
4. 利用期間の制限はない。

**16** 障害者総合支援法における特定相談支援事業に含まれるものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 計画相談支援
2. 就労継続支援
3. 地域移行支援
4. 地域定着支援

**17** 次の文の（ ）にあてはまる語の組合せとして正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

障害者総合支援法に基づく自立支援医療制度は、心身の障害を除去・軽減するための医療について、医療費の自己負担額を軽減する（ ア ）制度であり、更生医療、育成医療、（ イ ）医療の三つがある。

- |             |        |
|-------------|--------|
| 1. ア：医療保険   | イ：精神入院 |
| 2. ア：医療保険   | イ：精神通院 |
| 3. ア：公費負担医療 | イ：精神通院 |
| 4. ア：公費負担医療 | イ：精神入院 |

**18** 「障害者の雇用の促進等に関する法律（障害者雇用促進法）」に関する記述として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 事業主に、雇用する障害者の職業能力の開発及び向上に関する措置を行うことを求めている。
2. 市町村に「障害者雇用対策基本方針」の策定を義務付けている。
3. 障害者雇用率の算定において、対象となる障害者の職業的困難の区分を設定している。
4. 法定雇用率が適用されない従業員規模の事業所の事業主は、合理的配慮の提供は免除される。

**19** 障害児・者の手当の制度に関する記述として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 特別児童扶養手当の手続きは、所轄の児童相談所が窓口となっている。
2. 特別児童扶養手当は、障害のある子どもに支給される。
3. 特別障害者手当の手続きは、住所地の市区町村が窓口となっている。
4. 特別障害者手当は、障害のあるすべての障害者に支給される。

**20** 障害者や高齢者、患者などの意思や権利を代弁することを表す用語を、下の  
中から一つ選びなさい。

1. アドボカシー
2. インフォームドコンセント
3. エンゲージメント
4. ストレングス



## Ⅱ 聴覚障害者に関する基礎知識

**1** 聴性定常反応検査（ASSR）に関する記述として最も適切なものを、下の  
中から一つ選びなさい。

1. 35 デシベルの音への反応を調べる。
2. 周波数ごとの聴力を推定できる。
3. 外耳道の気圧を変化させて検査を行う。
4. 内耳から発生する音を記録する。

**2** 身体障害認定基準における言語による検査に関する記述として正しいもの  
を、下の中から一つ選びなさい。

1. 「りんご」「ばなな」などの単語が用いられる。
2. 一桁の数字が用いられる。
3. 「塩は甘い」などの文が用いられる。
4. 単音節の検査語が用いられる。

**3** 標準純音聴力検査における伝音難聴の説明として正しいものを、下の中から  
一つ選びなさい。

1. 気骨導差がなく、両方の<sup>いき</sup>閾値が低下している。
2. 気骨導差がなく、気導閾値が低下していない。
3. 気骨導差があり、骨導閾値が正常である。
4. 気骨導差があり、骨導閾値が低下している。

4

次の文章の（ ）にあてはまる語を、下の中から一つ選びなさい。

妊娠中のお母さんが（ ）に感染すると赤ちゃんが何らかの障害を持って生まれてくることがあり、その障害の一つが「難聴」です。赤ちゃんが感染しているかどうかは、生後3週間以内に尿を採取することで診断し、感染していた場合には、抗ウイルス薬による治療という選択肢があります。

1. サイトメガロウイルス
2. ストレプトマイシン
3. 麻疹<sup>しん</sup>ウイルス
4. ムンプスウイルス

5

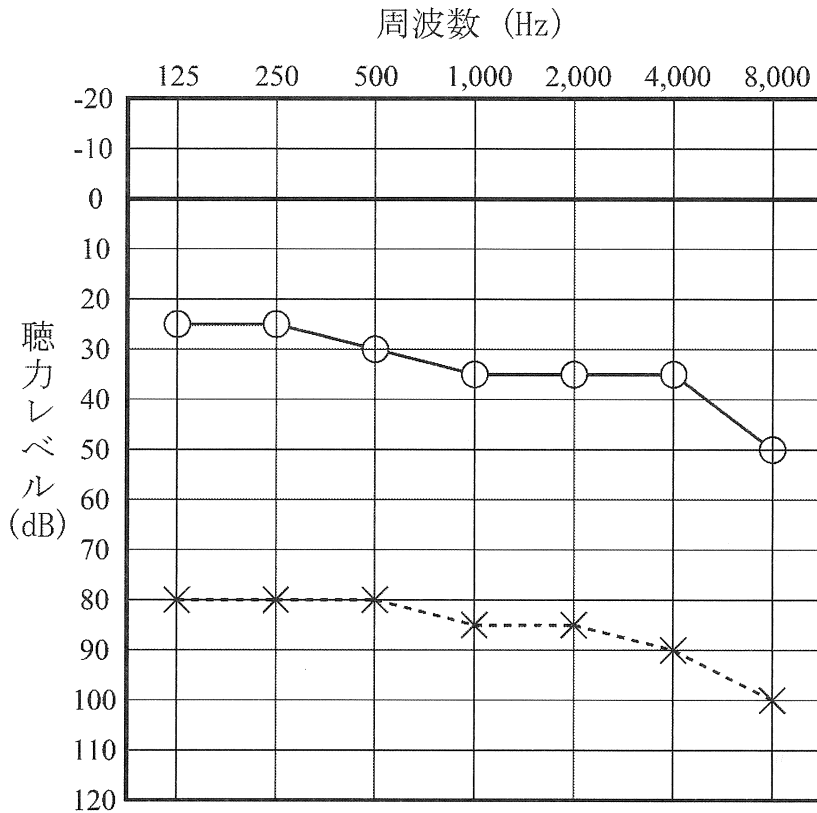
次の文の（ ）にあてはまる数を、下の中から一つ選びなさい。

先天性高度難聴児の出生数の割合は、両側性では出生数（ ）人に對して1人といわれている。

1. 100
2. 1,000
3. 10,000
4. 100,000

- 6 次の文は、下のオーディオグラムに関する説明である。( ) にあてはまる最も適切な語の組合せを、下の中から一つ選びなさい。

日本聴覚医学会における難聴の程度分類では、右耳は( ア )難聴、左耳は( イ )難聴である。



- |           |        |
|-----------|--------|
| 1. ア : 軽度 | イ : 高度 |
| 2. ア : 軽度 | イ : 重度 |
| 3. ア : 高度 | イ : 軽度 |
| 4. ア : 重度 | イ : 軽度 |

**7** 次の検査の中で、乳児に行う聴力検査として適切なものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 標準純音聴力検査
2. 聴性行動反応聴力検査
3. ピープショウテスト
4. 遊戯聴力検査

**8** 令和 8 (2026) 年に開催される国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会を前に、令和 6 (2024) 年、聴覚障害者が事件・事故に巻き込まれたときに手話で対応する「手話通訳官」を任命した警察本部がある県はどこか、下の中から一つ選びなさい。

1. 青森県
2. 山梨県
3. 愛知県
4. 熊本県

**9** 聴導犬の訓練・認定について定めている法律を、下の中から一つ選びなさい。

1. 障害者基本法
2. 障害者総合支援法
3. 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）
4. 身体障害者補助犬法

**10** 文政7(1824)年に現在の広島県呉市で生まれ、21歳で失聴したのち、3000人を超える志士たちと筆談を通して尊王論を戦わせ、近年その活躍が本にまとめられた人物を、下の中から一つ選びなさい。

1. 宇都宮黙霖
2. 谷 三山
3. 藤本 敏文
4. 横尾 義智

**11** 2025(令和7)年に開催されるデフリンピック東京大会で授与されるメダルに描かれる図柄を、下の中から一つ選びなさい。

1. 折り鶴
2. 歌舞伎役者
3. 日本橋
4. 富士山

**12** 令和6(2024)年秋、コーダ(Children of Deaf Adults)である五十嵐大の自伝的エッセイを映画化した「ぼくが生きてる、ふたつの世界」が全国で上映された。作者の故郷で、ロケ地になった都道府県を、下の中から一つ選びなさい。

1. 北海道
2. 宮城県
3. 京都府
4. 鳥取県

**13** 2024(令和6)年6月、国連・障害者権利委員会委員の選挙があり、ろう者の田門浩が13人の候補者のうちトップで当選した。これに関する記述として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 委員になるためには弁護士の資格が必要である。
2. 委員は5人の専門家で構成されている。
3. 日本人としては2人目の委員である。
4. ろう者の委員は初めてである。

- 14 次の文は、デフリンピック出場資格における聴力基準である。( ) にあてはまる数を、下の中から一つ選びなさい。

良耳の平均聴力レベル(P T A)が ( ) デシベル以上の聴覚障害を有する(500、1000、2000 ヘルツの三つの純音平均聴力レベル、気導、IS01969 基準) ろう者であること。

1. 55
2. 60
3. 65
4. 70

- 15 次のア～エの聴覚障害教育における出来事を、古いものから順に並べるとどうなるか、下の中から一つ選びなさい。

- ア. 栃木県立聾<sup>ろう</sup>学校の同時法による指導の開始
- イ. 通級による指導(義務教育段階)の本格実施
- ウ. 難聴特殊学級設置
- エ. 盲学校、聾学校の就学義務制施行

1. ア → ウ → イ → エ
2. ウ → エ → ア → イ
3. エ → ア → ウ → イ
4. エ → ウ → ア → イ

**16** 文部科学省が発刊している「聴覚障害教育の手引」について、令和2(2020)年に発刊された最新版のサブタイトルを、下の中から一つ選びなさい。

1. 言語に関する指導の充実を目指して
2. 手話による教育の可能性を探る
3. 多様なコミュニケーション手段とそれを活用した指導
4. 聴覚を活用する指導

**17** 筑波技術大学に関する記述として誤っているものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 国立大学法人が設置する大学である。
2. 学士課程は聴覚障害者のみを対象としている。
3. 修士課程には障害のない学生も入学できるコースがある。
4. PEPNet-Japanの事務局が置かれている。

**18** 現在一般的に使用されている日本の指文字に関する記述として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 古河太四郎によって作られた。
2. 明治初期に作られた。
3. アメリカの指文字をもとに作られた。
4. 韓国や台湾の指文字と同一である。

**19** 令和 7 (2025) 年 1 月より、電話で相手先の声が聞こえにくいことがある人へのサービスとして、通話相手の声を文字にする電話アプリの提供が開始された。電話リレーサービスの一環として実施されているこのアプリの名称はどれか、下の中から一つ選びなさい。

1. YYP r o b e
2. こえとら
3. UD トーク
4. ヨメテル

**20** 身体障害者手帳を持つ聴覚障害者が、補聴器を購入する際に利用できる福祉制度はどれか、下の中から一つ選びなさい。

1. 障害年金制度
2. 自立支援補助制度
3. 日常生活用具給付制度
4. 補装具費支給制度